令和8年度第2回　京都府公民連携プラットフォーム

文化財の保存と利活用に係る公民連携

～京都府庁旧本館におけるPPP/PFI導入の可能性を考える～

日　時

令和8年12月10日(木)
13時30分～16時30分(受付:13時～)

参加無料

会　場

京都市上京区下立売通新町西入薮ノ内町

京都府庁旧本館　正庁

定員80名

開催趣旨

文化財の維持には、多額の費用負担や高度な専門性が求められます。近年全国では、PFI等官民連携の手法により、民間事業者の知見や資金、創意工夫を取り入れた文化財の保存と活用の両立を図る取り組みが進められています。

今回は、文化財と官民連携をめぐる先進事例を学ぶとともに、重要文化財である京都府庁旧本館を事例として、**「もし将来的に、PFI事業等を視野に入れた保存活用を検討するとしたら、どのような手法や可能性が考えられるか」**を参加者の皆様とともに考える勉強会を開催します。

プログラム

第1部　講演「事例にみる文化財の保存・利活用へのPPP/PFI導入とそのポイント」
株式会社民間資金等活用事業推進機構　金谷隆正様

第2部　京都府庁旧本館について考える
(1)旧本館についての説明・施設内見学　(2)意見交換会

お申込み

右のQRコードまたは下記URLよりお申し込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-kyoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=3458

申込締切：12月3日（木）17時　※定員に達し次第、受付終了

旧本館の概要

竣工：1904年（明治37年）12月20日

面積：建築面積：2,774.11㎡／延床面積：5,548.22㎡

構造：レンガ造一部石造／地上2階

〈特徴〉

明治中期における日本人建築家による本格的西洋建築であり、議場を一体化した府県庁舎建築の典型として、明治以降の府県庁舎建築の模範となりました。
現在も執務室として使用されており、創建時の姿をとどめる現役の官公庁建物としては日本最古のものです。
意匠の優秀さ及び歴史的価値の高さから、2004年（平成16年）に国の重要文化財に指定されています。



旧本館正面



正庁



旧議場

〈旧本館の紹介ページ〉

https://www.pref.kyoto.jp/qhonkan/

主　催　京都府公民連携プラットフォーム（京都府、株式会社京都銀行）

問い合わせ先　「京都府公民連携プラットフォーム」事務局（京都府）　担当：島田
Email：huyushisan@pref.kyoto.lg.jp